

令和2年度(補正予算)  
再エネの最大限の導入の計画づくり支援事業  
第三次公募 審査委員会の意見を踏まえた総評

第1号事業の1(2050年までの脱炭素社会を見据えて再生可能エネルギーの導入目標を策定する事業)において、概ね、評価は以下の通り。

- 全体を通して2050年までの脱炭素社会を見据えた適切な再エネ導入目標となっており、さらに地域が求めている将来ビジョンと再エネ導入目標とのつながりが明確、かつ確実性が高い。

- その他

以下のとおりの意見があった。

調査の実施に当たっては、費用対効果に十分留意するとともに、複数年度事業においては、適切な進捗管理を行いつつ実施すること。

地域経済循環分析の結果を踏まえて、地域の環境・課題等を明確に示したものの評価は高くなること。

事業計画内容と経費の関係をより明確にすること。

なお、本事業を通じて、地域における再エネ導入ビジョンと目標策定の促進を期待したい。

以上